

福祉生活病院常任委員会資料

(平成26年9月18日)

〔件名〕

- 1 特定外来生物セアカゴケグモの発見に伴う対策について

(緑豊かな自然課)・・・1

生活環境部

特定外来生物セアカゴケグモ発見に伴う対策について

平成26年9月18日
緑豊かな自然課

9月16日に伯耆町内の大山パーキングエリアで発見されたセアカゴケグモについては、西日本高速道路(株)と連携して個体の捕殺を実施したところであり、引き続き監視していく。今回の発見を受けて、県内におけるセアカゴケグモが運ばれて生息する可能性が高い幹線道路沿いの施設(道の駅、パーキングエリア等)をはじめ、人の多く集まる施設等を中心に、点検・駆除作業を実施する。

1 発見・駆除の状況

- (1) 発見日時:平成26年9月16日(火)午前10時15分頃
- (2) 発見者:西日本高速道路株式会社
- (3) 発見場所:大山パーキングエリア側溝(駐車場部分)
- (4) 駆除状況:セアカゴケグモ94匹を発見、駆除した。
- (5) その他:パーキングエリア内の6箇所に注意喚起の張り紙を設置し、県ホームページで対処方法を掲載した。

2 県内施設の点検

- (1) 点検時期:平成26年9月18日(木)から順次実施
- (2) 点検箇所
 - ①道の駅 12箇所(2市7町)
 - ②パーキングエリア(鳥取自動車道の用瀬、智頭南)
 - ③トラックステーション(米子市二本木)
 - ④主要幹線道路の待避所(主に自販機、トイレ等設置している箇所)など、生息可能性が高い施設、また、人の多く集まる施設を中心に点検を実施する。
- (3) 点検及び駆除方法
 - ・ 東部生活環境事務所、中部・西部総合事務所生活環境局が施設管理者等の協力を得て、生息の可能性のある道路側溝等を点検、発見した場合は殺虫剤等で駆除を実施する。
 - ・ 市町村、国土交通省、トラック協会等関係団体への協力要請、情報提供等について、9月17日付けで実施した。

3 その他の対応

県ホームページに以下の事項等を掲載して、注意喚起の徹底を図る。

- 有毒であるため咬みつき被害に注意が必要です。もし見つけた場合は、素手では触らないで、東部生活環境事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、最寄の市町村役場、保健所等に御連絡ください。
- 駆除には、市販の殺虫剤(ピレスロイド系)が有効です。
- 万が一セアカゴケグモと思われるクモに咬まれてしまった場合は、医療機関へその旨を速やかに相談、受診してください。

《参考》セアカゴケグモとは

オーストラリア原産の小型のクモで、メスは毒をもっており、咬まれると痛みほか、重症化する場合があるが、死亡した例は報告されていない。日本に輸入される資材などに付着して国内に侵入したと考えられている。



■特徴

- ・メス【左】:体長1cm前後で体色は黒く、つやがある。
- ・オス【右】:体長5mm程度で体色は褐色、足の色は濃淡があり縞模様。

■すみか

- ・隅のよくあたる場所の地面近くの間隙やくぼみ
- ・道路側溝、ブランター、エアコン室外機等の人工物の物陰、駐車場周辺